

**単元名 雅楽の多様な表現を鑑賞しよう**
**配当時間 2時間**

- 単元の目標** (1) 雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解することができる。
- (2) 雅楽に関する知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

**標準的な展開例**

11260301\_001

**【教材名】** 雅楽「越天楽」 舞楽「左舞・右舞」 (上 P. 40～P. 45)

**【準備等】** 鑑賞映像、デジタル教科書

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 雅楽に用いられる楽器の特徴や演奏の仕方を理解し、旋律やリズムの合わせ方、楽曲全体の構成などから雅楽のよさを味わう。</p> <p>★雅楽について知ろう。</p> <p>○「越天楽」の表現の特徴をとらえる。</p> <p>○旋律やリズムの合わせ方を理解する。</p> <p>○歴史的背景を理解し、表現の特徴を整理しながら聴き深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲が進むにつれ、徐々にテンポが速くなっている。</li> <li>・4拍子のように聴こえる。</li> <li>・4拍目は他の拍に比べ、長めに演奏されている。</li> </ul> <p>2 左舞と右舞の歴史的背景や「越天楽」との関係を理解して鑑賞する。</p> <p>★雅楽の多様な表現を鑑賞しよう。</p> <p>○左舞「万歳楽」と右舞「狛鉦」を鑑賞する。</p> <p>○自分なりに考えたよさや魅力をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書を活用して、P. 41「管弦」を提示し、用いられる楽器を、吹きもの・弾きもの・打ちものに分類した上で、冒頭を聴取させる。</li> <li>・楽器の音色、鞆鼓のリズム、龍笛や箏の旋律の関わり方、笙の音の重なり方を理解させる。</li> <li>・P. 42「序破急」「雅楽の種類」を参照して、雅楽の歴史的背景や我が国における役割や意味を理解させる。</li> <li>・楽器の加わり方や減り方、演奏している人数などにも着目しながら楽曲を鑑賞させる。</li> </ul> <p>【評】「越天楽」の表現の豊かさについてワークシートに記述する活動を通して、「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P. 42「舞楽」を参照して、歴史的背景を理解し、鑑賞して気が付いたことを教科書の表を使って整理させる。</li> </ul> <p>【評】我が国の音楽文化に関心をもち、歴史的背景を知る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「越天楽」「万歳楽」「狛鉦」から一つを選び、よさや魅力をまとめさせる。</li> </ul> <p>【評】我が国の音楽文化の知識を活用して、そのよさを根拠をもって批評する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

**【 備 考 】**

雅楽「越天楽」を鑑賞し、拍の表われ方や速度の変化、音楽の構成などに注目しながら、特徴を理解する。また、左舞と右舞の違いを比較鑑賞し、我が国における音楽文化の歴史的背景を理解する。

【共通事項】 音色・リズム・旋律・テクスチャ・構成